

令和3年度第1回地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会 議事要旨

日時 令和3年7月13日(火) 16時00分から17時30分

場所 加古川中央市民病院 3階 会議室1

出席者(委員) 森脇委員長
加堂副委員長
中田委員
溝端委員
石井委員

報道関係者 1名

傍聴者 0名

- 会議次第
1. 開会・あいさつ
 2. 諮問書の提出・受理
 3. 議題
 - (1) 傍聴要領の改正について
 - (2) 令和3年度の評価委員会開催予定について
 - (3) 令和2年度運営状況の概要について
 - (4) 令和2年度業務実績に関する評価について
 - (5) その他
 4. 閉会
 5. 事務連絡

配付資料

資料1：地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会傍聴要領
新旧対照表

資料2：令和3年度評価委員会の開催予定

資料3：令和2年度決算概要

資料4：令和2年度財務諸表等

- (1) 財務諸表及び附属明細書
- (2) 決算報告書
- (3) 事業報告書
- (4) 会計監査人監査報告書
- (5) 監事監査報告書

資料5：令和2年度業務実績報告書

参考資料1：地方独立行政法人法等の抜粋

参考資料2：地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会条例

参考資料3：地方独立行政法人加古川市民病院機構の業務実績に関する評価の基本方針

参考資料4：地方独立行政法人加古川市民病院機構年度評価実施要領

分析資料1：医師数の推移

分析資料2：診療科別患者数（対前年度比較）

分析資料3：診療科別診療単価・収益（対前年度比較）

1. 開会・あいさつ	<p>開会の宣言 <森脇委員長あいさつ> 昨今は新型コロナウイルスの影響で病院が置かれている状況が悪くなっている。オリンピックの開催やデルタ株の流行など、新たな不安要素もある一方で、従来からの日常的な業務も行う必要があり、大変な状況である。そのような中で、2016年度から2020年度で第2期中期計画の期間が終了し、本年から第3期中期計画が開始している。今年度の評価委員会では2020年度の評価に加え、第2期中期目期間の評価について、しっかり意見していきたい。</p>
2. 諮問書の提出・受理	<p>市長が公務のため、荻野健康医療部長が諮問書を読み上げ、森脇委員長へ手渡した。</p>
3. 議題	<p>(1) 傍聴要領の改正について</p> <p>地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会傍聴要領について、資料1に基づき事務局から説明を行い、委員の了承を得た。</p> <p>新旧対照表の改正後(案)では「傍聴を希望することを申し出るものとする。」としているが、最新の案では「傍聴を希望することを<u>委員長</u>に申し出るものとする。」となっている。</p> <p>(委員の主な意見、質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改正に至った経緯を知りたい。過去に傍聴者から受付方法等について意見があったのか。 <p>(事務局回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本評価委員会に限らず、全庁的に公開されている会議等に関して、傍聴者の名前を記入する必要があるのかという意見があり、受付名簿への記入を省略する動きがある。これを受けて全庁的な統一を図ることを目的に傍聴要領を改正することとなった。 <p>(2) 令和3年度の評価委員会開催予定について</p> <p>令和3年度の評価委員会の開催予定について、資料2に基づき事務局から説明を行い、委員の了承を得た。</p> <p>(3) 令和2年度運営状況の概要について</p> <p>令和2年度の運営状況の概要について理事長から報告があり、続けて、経営状況及び決算概要について、資料3に基づき法人担当者から説明を行った。</p> <p>(委員の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスと戦ってきた1年間のわりには、マイナスも少なく頑張っている。院内でのクラスター感染等も発生しておらず、感染症対策に力を入れてきた結果だと思う。 ・2020年度は収益を上げるよりも、新型コロナウイルス感染症をどう切り抜けるかという年度だったが、国や市からの補助もあり、今後支障をきたさないような形で終わられたと思い、安心している。 ・数字だけでは表れない公共的な役割を担ったと感じる。

	<p>(4) 令和2年度業務実績に関する評価について</p> <p>令和2年度の業務実績の概要及び法人の自己評価のポイントについて、資料5および当日配布資料に基づき法人担当者から説明を行った。</p> <p>(委員の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度については、例年と同じように評価すると低い評価となってしまう。新型コロナウイルスの影響を踏まえた上で評価を行うべきなのではないか。 ・新型コロナウイルスにより大変な状況は変わらないが、できることを冷静に見極め、様々な取り組みを行っている点が素晴らしい。しっかりと評価していきたい。 ・目標値や実績値だけで評価するのではなく、例えば新型コロナワクチン接種等で地域貢献において大きな役割を果たしている点なども加味して評価していきたい。 ・令和2年度は特別な事情がある中での業績なので、それを十分踏まえたうえで評価すべきではないか。そういう観点で見ると、機構の評価は過少である点も見受けられるので、次回の委員会で実のある評価をしたい。 <p>(5) その他</p> <p>意見なし。</p>
4. 閉会	<p><加堂副委員長あいさつ></p> <p>コロナ禍で2020年度の評価は難しい。現在、感染第5派の入り口に差し掛かっており、オリンピックの影響や変異株の脅威もある。今年1年間も新型コロナウイルスの影響が続くと思うが、健康に気をつけながら、次回はより具体的な評価を考えていきたいので、よろしくお願いします。</p>